

東日本で甚大な豪雨災害が発生しています。

併せて韓国でもハンサリム生協活動エリアで甚大な被害が発生しています。緊急支援募金へのご協力をお願いいたします。

グリーンコープ共同体

2022年8月3日から降り始めた東日本の雨は警報級の大雨となっており、東日本の広範囲の地域で土砂災害や河川の氾濫など重大な災害が発生しています。国土交通省は8月4日午後3時30分、8水系17河川の氾濫を確認したと発表、11件の土砂災害も確認、道路の流失や冠水も多数発生と発表。8月13日気象庁は、東北北部は前線が停滞し台風8号接近で警報級の大雨となり土砂災害発生への厳重な警戒が必要と発表。

＜新潟県村上市小岩内の様子：34世帯が被災＞

現地にはグリーンコープがこの間の災害支援で繋がったボランティア団体が支援活動に入っていますが、福井、新潟、山形、秋田、青森当広範囲に災害が発生しており、情報収集し現地で活動する団体を通じて被災地域の支援を進めることで予定しています。



＜青森県弘前市の様子：りんご園が一部被災＞

青森県弘前市には、グリーンコープの産直りんごの産地「津軽みらい農協石川（あっぷるすたーず）」があります。現時点、りんごが水に浸かるなどの被害はありませんが、園地の「のり面」が崩れるなどの被害が発生しています。



写真は「あっぷるすたーず」の生産者の園地です。「のり面」が崩れ、りんご園地に土砂や雨水が流入しています。傾いているりんごの木も見受けられます。

韓国・豪雨災害状況：連帯しているハンサリム事業連合の様子

グリーンコープ共同体：金キソプ顧問から被害情報が届きました。

①京畿道広州市退村面にある店舗が浸水・物流配送車3台が浸水

＜ハンサリム生産地における豪雨による被害状況についての概略的な報告＞

江原道洪川地域：一部生産者の田んぼと畑に浸水被害が発生。その他、露地作物は被害の状況を収集中。

江原道楊口地域：施設ハウスに被害が発生。

忠清北道清州地域：低地帯の葉っぱ野菜の生産者の施設ハウスに浸水被害が発生。水が入ってきた施設は作物が枯死し、土砂が流入して床に積もった。慣行農業の農地から土砂が入ってきて、土壤汚染の恐れがある。

清州の生産者グループ「カメ（亀）共同体」のシイタケ舎に浸水被害が発生。施設の上に工事中だった堤防が崩壊し、多量の水と土砂が流入。床から1メートル以上の高いところで栽培を行っているために、シイタケには直接的な被害はないが、床に積もった土を取り除かなければならない。また、有機キノコ栽培の認証を受けている農家であり、自らシイタケの栽培の土を作っていた施設が浸水したために、種菌などの汚染の恐れがある。その他、今のところは大きな被害は報告されていない。しかし、地域によっては、今後も集中豪雨が続くために、被害が出てくるとみられる。詳しい被害状況は続いて確認中。

今回の豪雨は、韓国・東日本に大きな災害が発生しています。台風8号の影響もあり今後さらに被害は拡大していく様子もあります。ハンサリム事業連合とは、平和活動や商品活動などグリーンコープと連帯して来ています。

今回の緊急支援募金は、東日本と合わせて韓国ハンサリム事業連合への支援にも役立てていきたいと考えています。

緊急支援募金へのご協力をよろしくお願いします。

令和4年8月豪雨災害支援募金		
申込番号	004	1口200円
	005	1口500円
●4桁申込欄に申込番号と口数を記入してください。例えば、申込番号「004」を数量欄に「2」と申し込まれると200円×2口＝400円として受け付けます。		
●組合員のみなさまからの救援金(カンパ)は、グリーンコープが責任を持って取りまとめ、各支援団体とともに被災地域の救援活動などに役立てます。		

グリーンコープでは、これまでに行ってきた災害（震災、水害等）の支援活動をHP上に掲載しています。スマートフォンのバーコードリーダーなどのアプリを使ってQRコードを読み込んでご覧ください。

